

# 住友化学 i - 農力だより

<http://www.i-nouryoku.com/index.html>

第93号 平成24年9月28日  
発行 住友化学(株) アグロ事業部  
お客様相談室 0570-058-669  
編集者 佐伯晴子  
発行責任者 南 圭三郎

## 目次

農家さん訪問記 (77) . . . . .	p. 1
住友化学アグログループ紹介 レインボー薬品(株) . . . . .	p. 6
食の安全性について考える(30) . . . . .	p. 7
今月のお奨め農薬 . . . . .	p. 8
今月のご相談から . . . . .	p. 9
お役立ちプチ情報 . . . . .	p. 11
農薬登録情報 . . . . .	p. 12
病害虫発生情報 . . . . .	p. 14
最近の「お・・美味しい!」 . . . . .	p. 15
編集後記 . . . . .	p. 16



エゾビタキ (ヒタキ科) とダケカンバ (カバノキ科)  
富樫 信樹 画

## 農家さん訪問記(77)

# 地域農業の核・農事組合法人「もとすファーム」

今回は岐阜県本巣市の農事組合法人「もとすファーム」を訪問しました。本巣市は岐阜市に隣接し、西には木曾三川の一つ揖斐川に合流する根尾川が流れています。本巣市の南東には岐阜城、南には大垣城、南西には関ヶ原の古戦場があり、古来多くの人々が行き来した場所です。ちなみに、かつて岐阜県本巣郡の南東部は真桑村といわれていました。ここでは古くからマクワウリが栽培され、マクワウリの名前は真桑村に由来するそうです。



福田勇一さん

「もとすファーム」は昭和 30 年代から 40 年代に実施された国の農業構造改善事業の完了に伴い発足した、機械化営農組合を母体として設立されました。「もとすファーム」を訪問した時、事務所では数名の方が熱心に議論をされており、ミーティングが終わると慌しく事務所から出て行かれ、農繁期で寸暇を惜しむ状態であると感じられました。この様な中、組合長理事の福田勇一さん (71 才) にお話を伺いました。(訪問日: 8 月 20 日)

## 機械化営農組合の発足

「もとすファーム」が管轄するのは、本巣市の中でも本巣地域と呼ばれるところです。本巣地域は岐阜県北西部、濃尾平野の北端に位置し、水田面積約 350 ヘクタール、農家戸数約 800 戸、一戸当たり栽培面積は約 43 アールと、決して大規模農家の集まる地域ではありません。福田さん

の家も祖父の代から農業をしていましたが、お父さんが戦死されたため福田さんが農業を継ぎました。20～30歳の頃は庭師の職にも就きながら、祖母、母、妹と4人で85アールの農地で稲作と当時栽培が拡がりつつあった岐阜黄玉葱を栽培していました。

昭和36年には全国で農業構造改善事業が開始され、農地区画の整備と機械化による栽培が推進されました。そして昭和39年にこの地区での土地改良事業が完了し、これに伴い、昭和49年に地区南部の下川原地域7集落の187戸、栽培面積73ヘクタールからなる「下川原機械化営農組合」が設立されました。この組合に加入すると10アール当り5000円の賦課金で組合所有の機械が使用できました。また、組合で病害虫の一斉防除を行うなど、作業の効率化が推進されていました。

「下川原機械化営農組合」は水田を機械で深耕し、田植えができる状態にして委託者に渡す仕事をしていました。この事業が意外に多くの収入となり、組合内に資金が積み立てられていきました。その後さらに、委託業務内容も田植え、代掻き、病害虫一斉防除、コンバインによる収穫と拡がり、収入はさらに増加し、積立金も増加していきました。このように組合の業務は順調でしたが、平成に入ると、委託件数が増加し、営農組合として預かれる土地面積が限界に達し、さらに担い手不足による耕作放棄田の増加と農地保全が問題化してきてしまいます。この問題を解決するため農事法人を立ち上げる案が浮上してきました。

## もとすファームの立ち上げ

地域全体としてこのような問題を解決するため、平成11年に地域水田の保全、農地の効率的利用目的とした特定農業法人「農事組合法人もとすファーム」が委託者168名、役員5名、職員3名の陣容で設立されました。

「もとすファーム」立ち上げに当っては福田さんを含めて5名の方がそれぞれ100万円を出資し、資本金500万円でスタートしました。この額は現在も同じです。

「もとすファーム」の立ち上げと同時に地域の担い手を助成する組織として下川原機械化営農組合の組合員が中心となって「下川原農地委託者組合」を設立しました。「下川原農地委託者組合」は「下川原機械化営農組合」で保留されている資金を円滑に「もとすファーム」に移していく仕組みを実現するために作られました。例えば「もとすファーム」に対する委託料の一部を「下川原機械化営農組合」から補助するといった具合です。委託料の一部を組合が補填してくれることで農家が委託しやすくなったため、担い手がいなくなり放棄されつつあった水田を所有する農家が、積極的に「もとすファーム」に栽培を委託するようになり、耕作放棄田の発生を防止できると共に、「もとすファーム」の基盤が固まっていきました。



本集地域全体の見取り図

## 成功の秘訣：その 農地の集約化

福田さん達は農事法人が成功するには農地を集約し、作業効率を上げることが必須と考えました。例えば、担い手不足で売りに出た地域内の農地をこの地域外の人が購入し、耕作を行わず放棄田としてしまうことがよくありましたが、それを防止するため、この人達に「もとすファーム」

の活動に参加してもらって、この人達が購入した農地でも栽培することで、放棄田の発生防止と農地の集約化を進めてきました。また、国からの農地集約化の補助金もこの活動に役にたっており、現在、JAが窓口となって、栽培委託による集約化を進めています。一方、委託される農地が飛び地で作業上効率が悪い場所であっても、他の農事法人に委託されると今後の拡大化が図れないので、委託を受け入れているようです。そうして、この地域全体では約200ヘクタールの農地がありますが、「もとすファーム」では現在、約120ヘクタールの農地を集約化できています。



アスパラガスハウス

実はこの地域の近隣には他の農事法人も立ち上がっています。しかし「もとすファーム」はこの地域では最大の農事法人でもあり、競合することは避けているようです。

「もとすファーム」自体は旧機械化営農組合を母体としていたので、設立当初から順調に業務を拡大してきました。現在、「もとすファーム」の主な栽培作物と面積は、水稻90ヘクタール（内委託栽培20ヘクタール）、大豆16ヘクタール、小麦15ヘクタール、ブロッコリー120アール（委託分を含めて170アール分を育苗）、アスパラガス（6×80mのハウス2棟）です。その他とうもろこし、さといもも栽培しています。

## 成功の秘訣：その作業の効率化

「もとすファーム」では水稻をほとんど「湛水直播栽培」という方法で栽培しています。水稻の湛水直播栽培は平成14年当時、岐阜県ではほとんど実施されていませんでした。しかし、福田さん達は機械化営農集団の頃から規模を大きくするには水稻の湛水直播栽培が必要と考え、カルパーによる種子コーティングが実用化された頃からすぐ湛水直播栽培に着手し、平成15年には15ヘクタールを湛水直播で栽培しました。さらに、平成16年からは本格的に取り組み、今では作付けの95%をこの方法で栽培しています。湛水直播栽培には圃場の均平化は必須ですが、レーザーシステムでの圃場均平化を高いレベルで実現し、より作業の効率化を目指しています。また、栽培している品種はミルキークイーン、ひとめぼれ、コシヒカリ、はつしも（早生）、はつしも（晩生）と様々ですが、作業が一時期に集中しないよう栽培時期をずらしています。また、稲は品種毎に栽培場所を集約化し、各品種としての団地を形成して、効率的な作業ができるようにしています。

湛水直播栽培に至るまでは、各種の先進的技術にも試験的に取り組んできました。乾田直播栽培にも取り組みましたが、雑草の多発や水田の保水性の悪化で現在は見合わせています。また、昨年までは紙マルチ使用の栽培を実施していましたが、高コストと紙質の低下等で現在は中止しています。そして現在、カルパーに代わる技術として注目しているのが鉄コーティング種子による湛水直播栽培です。この技術はカルパーよりコストが減らせる可能性があり、毎年実験的に栽培を実施しており、反収も350～360kg程になってきました。

湛水直播栽培の本格的導入で、移植栽培での作業との時間差ができるようになったため、作業分散が可能となり、地域からの受託増加とそれに伴う全体規模拡大が可能となりました。最近では近隣の担い手に対し、いち早く取り入れた湛水直播のモデルケースとして普及指導活動を行っています。さらに試験栽培など行政と連携して、「生産コストの削減検討直播栽培」など土地利用型低コスト生産体系確立にも関わっています。しかし、問題がないわけではありません。収量が地域平均より約2割少なく（平均反収300kg）、今後どのようにして収量をあげるの

かが課題となっています。

大豆と小麦はローテーションで栽培しています。小麦の刈り取り後に表層耕起して大豆をは種し、大豆収穫後、また表層耕起し、小麦をは種します。水稲と同様に大豆、小麦も品種毎に集約して、団地を形成し、栽培作業を効率化しています。

「もとすファーム」の所有する主な機械は大型コンバイン3台、水稲湛水直播播種機3台（アタッチメント切り替えで田植え機に転用可）、大豆、小麦用専用播種機1台、その他トラクター、カルパーコーティング機等です。収穫時作業が集中する時期には地元の方を雇用しますが、これだけの規模の農場経営と栽培を福田さんを含む役員4名、オペレーター3名、作業員2名、事務員1名（内2人は非常勤）で行っています。



倉庫内にて（これは播種機）

## 成功の秘訣：その投資の最小化

「もとすファーム」を訪問したとき、栽培規模の大きさに比べて建屋が小さく、事務所横の倉庫も小さく、広い栽培面積を栽培するには十分な機械がないように思い、福田さんに「法人としての規模の割には建屋が大きくありませんね。どうしてですか。」とお聞きしたところ意外なお話が返ってきました。

「もとすファーム」立上げの時、倉庫用の土地を購入したかったものの採算が合わなかったため、それならと、無理をせず身軽に運営できるように、すでにあるものを借用する等して初期投資を最小限にすることに決めたそうです。例えば、事務所と離れた場所に昔JAがライスセンターとして使用していた建屋がありますが、この建屋はライスセンターが別の場所に建てられたので使用されなくなりました。そこで、この建屋を借用し、倉庫として利用して、大型機械と資材を収納しています。また、この地域は以前は岐阜県の本場として岐阜黄玉葱が広く栽培されていたので、JAの専用保冷倉庫が建てられていました。しかし、その後北海道のたまねぎに押され、たまねぎ栽培が縮小すると、この保冷倉庫も利用されなくなり、空いた状態となっていたのを借用し、資材倉庫として使用しています。さらに、このくらいの規模の水稲作を行っている、自前のライスセンターを持っているところもあるそうですが、「もとすファーム」では自前のライスセンターもなく、近くのJAのライスセンターの一部を「もとすファーム」専用として借りています。

このようなことに加えて経営上の有利な点の一つに水利権があります。「もとすファーム」が集約できている農地は地域全体から見たとき、川上に位置し、川から直接取水でき、水路管理に手間や費用がかかりません。このメリットは非常に大きく、「もとすファーム」の利点になっています。

## 地域との関わりと将来の運営

収穫物はJAを通じて出荷していますが、岐阜クリーン農業生産登録を受け、安全、安心な作物の地産地消を推進するため、地域の学校や保育所、老人ホームなどにも出荷しています。地産地消で出荷する稲の品種は「はつしも」です。この品種は福田さんが自家消費として栽培して



もとすファーム 全景

いて、味がいいので栽培面積を拡大してきました。その結果昨年は地産地消用として 1000 俵ほど出荷できたそうです。さらに地域とのつながりを大切にして直接販売、収穫祭、小・中学生の農業体験を実施するとともに、酒造りにも着手し、銘酒「織部乃里」を地元の道の駅で販売しています。

今後、農地の貸し手に対する一時金補助が国から出るようになることで、すでに「もとすファーム」には農地が続々と集まって来ています。さらに隣の岐阜市へも進出しているので、栽培規模は大きくなる一方で、将来は 200 ヘクタール程度になる可能性があるそうです。こうなると、若い人も増やさないといけないので、来月から 24 才、28 才の人が正社員として入って来ることになっているそうです。

現在、ライスセンターは JA から借りており、自ら持つ必要はありませんが、ゆくゆくは自分の家を持つように、「もとすファーム」として持ちたいと福田さん達は思っています。しかし民間の金融機関との関わりが薄く、土地に関する情報が入りにくいと、倉庫やライスセンター建設のための土地を見つけるのが難しい状態です。とはいえ、自前の設備を購入しないと後継者の確保も難しくなり、また、現在の建屋もいつまで借りられるかわからないといったリスクもあります。一方で、近隣の農家では、担い手として農業を引き継いでいる人も多いので、これらの人と連携をして、近い将来の規模拡大に備えた準備を進めています。



織部乃里（冷やで！）

## 終わりに



美しい水路の水

お話を伺った後、福田さんと同じく理事の山田さんに圃場を案内していただきました。元ライスセンターの機械倉庫、元たまねぎ保冷倉庫の資材庫、ブロッコリー育苗場、アスパラガス栽培ハウス、さといも栽培畑に案内されました。その周辺に広がる水田はほとんど「もとすファーム」が栽培しています。水田横の水路はきれいに整備されており、流れる水は澄み切っていました。手をつけると、猛暑の中でもひんやりとして、このような水で栽培される作物はいいものができると感じました。圃場案内の後で福田さんから「もとすファーム」の銘酒「織部乃里」をいただきました。いい水で栽培されたいいお米で作られたお酒を頂き、思わずにっこりとし、濃尾平野の南に盛り上がる入道雲を眺めながら、「もとすファーム」をあとにしました。

この訪問は株式会社山正岐阜営業所の方々のご協力で実現しました。有難うございました。

(山脇・佐伯)

[目次へ戻る](#)

住化アグログループ紹介

レインボー薬品株式会社


 レインボー薬品株式会社 <http://www.rainbow-f.co.jp>


## eco除草プロジェクト はじまる。

レインボー薬品の「ネコソギ」シリーズ除草剤は、発売開始から30年を越え、おかげさまで家庭用粒状除草剤売り上げナンバーワン。

たいへん好評いただいております。 2011年度ネコソギシリーズ店頭販売金額

しかし、使い慣れていない方にとっては・・・なんとなく悪そう。環境にもよくないのでは・・・などとネガティブなイメージが付きやすい除草剤。そんな状況だからこそ、除草剤を扱う企業として、私たちレインボー薬品は『eco除草プロジェクト』をはじめることになりました。

エコロジーでエコノミーな除草剤を目指すための『eco除草プロジェクト』。まずはパッケージと自然環境について考えました。もっと幅広いお客様に、じょうずに除草剤を使っていただくために、レインボー薬品は、除草剤を通じて人や社会や自然に貢献していきます。

### パッケージの新しいカタチ

#### ネコソギクイックプロFL 分包散布器付き

薄め方が難しい、散布器具を持っていない、たくさん買うと重くて持てない、ゴミが増えて嫌・・・そんな声にお応えしました。

便利な「専用2L散布器」付き  
この1箱で6L分の薬液が作れる  
希釈がカンタン！  
ゴミの軽量化。

今までは…  
2Lのシャワーが主流



すぐに使えて便利だけど  
ゴミが増える一方…



2L×3本分がこの一箱に！

#### エコパック

(ネコソギAL1.0、シバキープAL)

お客様ご自身で、手持ちの散布器具に入れて使っていただくことで、ゴミの削減が可能となるエコパック。さらにプラスチックの使用も少なく省資源。「エコ」に注目した新しいカタチのパッケージです。



丸めて捨てられるから、  
ゴミの軽量化が可能

### 社会貢献活動

#### 「緑の募金」への寄付

除草剤は農業、芝生や道路の管理などにだけでなく、林業、また野生環境保護のための外来植物駆除にも使われるなど、人と自然が共存するためにあらゆる場所で使われています。

レインボー薬品はこの除草剤のように、人と自然の共存を推進し、より良い社会環境の実現に貢献したいと考えます。そこで、売り上げの一部を「緑の募金」(社団法人 国土緑化推進機構)へ募金することになりました。「緑の募金」を通して、身近な地域や国内外の森づくりにつながり、さまざまな「森づくり・人づくり」活動の活性化に活かされます。



緑の募金

お問い合わせ先  
レインボー薬品株式会社  
TEL 03 (6740) 7777  
平日 9:00~17:00  
(土・日・祝日は休み)  
<http://www.rainbow-f.co.jp>

## 食の安全性について考える(30)

### 農薬を使用しないで栽培した場合

農薬を取り扱うにあたり、大きな3つの安全性が問われることになる。

第1は、農薬の取扱者すなわち農薬の製造、散布作業などに従事しているものが被害にあう場合。第2に、農薬が作物に残留し、それが摂取されて人体に影響を及ぼす場合。第3に、農薬が自然環境や生態系に及ぼす影響などについてである。特に、近年は環境運動の高まりとともに農薬への関心も一段と強まっている。それらのことを踏まえ、農薬の安全性について、わかりやすく解説した農薬工業会編「なるほど！なっとく！農薬Q&A」をしばらく掲載したい。(古津)



挿絵：加藤さん

#### Q 農薬を使わないと、農作物の収量はどのくらい減るのですか？

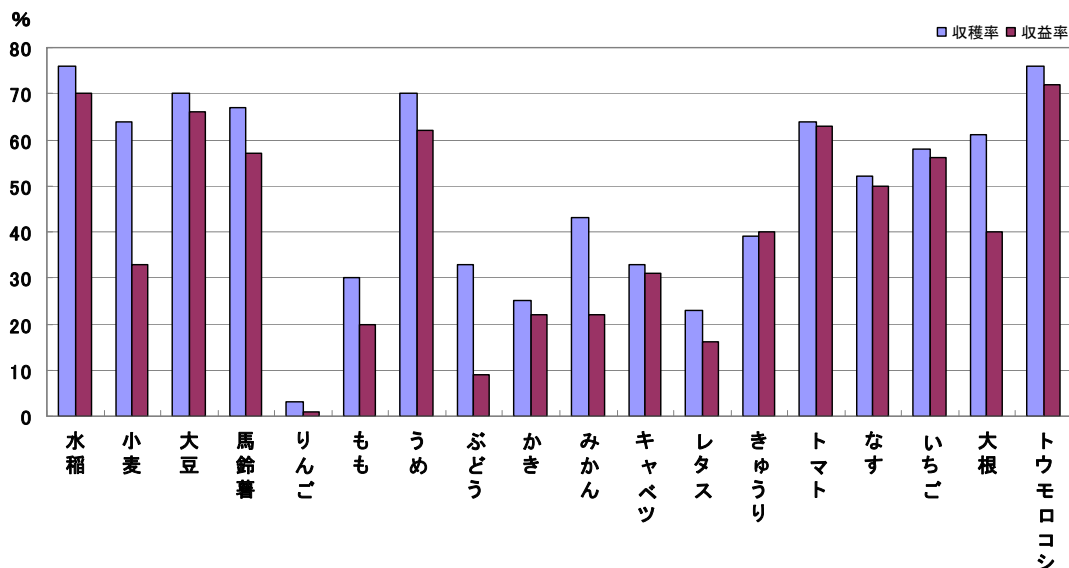
A 農薬を使用しない場合の病害虫の影響については、(社)日本植物防疫協会において1991年、1992年および2004～2006年に試験を実施しており、それによると、ある程度収穫できる作物もありましたが、収穫が皆無になる作物もありました。さらに、(財)日本植物調節剤研究協会では、1983～1986年に野菜における雑草の被害についての解析を行っており、収量が大幅に減少することを示しました。家庭菜園のように栽培面積が狭く、単一の植生ではない場合は、病害虫の被害が目立たないこともあります。しかし、りんごやもものように病害虫の被害が多い作物もあります。一般的に栽培面積が大きくなればなるほど、また同じ作物を長い間連続して栽培をすればするほど病害虫による被害を受けやすくなり、実際の農業生産現場では病害虫や雑草の防除が必要となります。

現在の栽培体系のなかで農薬を使用しないで栽培した場合、病害虫や雑草によりどのような影響が出るかを調べる試験が行われています。(グラフ参照)

この結果から次の3点が明確になりました。(1)収量が低下する。(2)収穫物の品質が低下する。(3)そのため、収量の減少率以上に出荷金額の減少がおきる。つまり、農薬を使用しないで現在の品質・収量、経済的な生産レベルを維持することは難しいということです。

病害虫に関する試験方法と結果は以下の通りです。水稻14カ所、畑作14カ所、果樹23カ所、葉菜類24カ所、果菜類15カ所、根菜類等13カ所、全国延べ103カ所で、農薬を使った慣行「防除区」と農薬を使用しない「無農薬区」に分け、収量、出荷金額への影響を調べました。なお、「無農薬区」では農薬は一切使わないことを原則としましたが、育苗期の防除や土壌消毒など最小限の防除をおこなわないと、そもそも収穫が得られず、試験が成り立たない場合はやむをえず使用しました。

農薬を使用しないで栽培した場合の作物の収穫率と収益率  
(農薬を通常通り使用した区を100%とした場合)



[目次へ戻る](#)

## 今月のお奨め農薬

モグラ、野ソに対する高い忌避効果とコナダニ類に対する高い防除効果のある

## 殺線虫剤 ネマモール粒剤 30

ネマモール粒剤30には三種類の効果があります。

**第一の効果は殺線虫効果です。** センチュウ類は種類が非常に多く、ほとんどの高等植物に寄生しています。野菜類の根に寄生するセンチュウ類は主にネコブセンチュウ類とネグサレセンチュウ類です。ネコブセンチュウによる被害は根こぶ(ゴール)の形成による根の機能低下です。ネコブセンチュウの幼虫が侵入・定着した根は幼虫の分泌物に感応して根こぶ(ゴール)を形成します。根こぶが形成された株は日中葉が萎れたり、生育不良になります。ひどい場合には葉が黄変し枯死することもあります。ネグサレセンチュウによる被害は根の腐敗と生育不良です。ネグサレセンチュウは植物の根に侵入後組織内を移動して加害します。ネグサレセンチュウが侵入した植物は初め葉縁が赤褐色に変色し、次第に葉全体が紫褐色になり、ひどい時は株が萎凋し、枯死します。ネグサレセンチュウの被害症状は肥料の濃度障害等と似た症状で混同しやすく、注意が必要です。

ネマモール粒剤30の有効成分DCIPはセンチュウの角皮から体内に浸透し、センチュウ体内の酵素を阻害することによって殺線虫効果を発揮します。

**第二の効果はモグラ、野ソ(野ねずみ)に対する忌避効果です。** モグラは直接農作物を加害することはありませんが、餌を探す採餌活動でトンネルを掘るため、農作物の根が切られたり、植えたばかりの苗が倒される等の被害が発生します。また、モグラが掘ったトンネルを野ソが利用し、野ソの被害が拡大する場合があります。農作物に被害を及ぼす野ソは主にハタネズミです。ハタネズミは植物の根部や子実を食べるだけでなく、食物の不足している融雪期にはチューリップの球根や果樹の根部や地際部の樹皮を食害します。

ネマモール粒剤30の忌避効果はネマモール粒剤30の持つ刺激臭をモグラ、野ソが忌避するためと考えられています。

**第三の効果はコナダニ類に対する防除効果です。(コナダニに対する殺ダニ活性が確認されています。)** コナダニ類は土壌表層に生息し、形態は楕円形、体長は0.3~0.7mm程度で、体色は乳白色です。土壌中では有機物や有機物に発生する糸状菌(かび)を食べていますが、有機質資材を多く投与する栽培では土壌中で増殖したコナダニ類の一部が農作物に移行して加害します。ほうれんそうの施設栽培では主にハウレンソウケナガコナダニが被害を発生させ、難防除害虫になっています。ハウレンソウケナガコナダニはほうれんそうの新芽、新葉部に集中して寄生し加害します。被害を受けた葉は展開すると小さな穴が開いたり、コブ状の小突起を生じて、正常に展開せず、光沢を帯びた奇形葉になります。きゅうりなど他作物でもハウレンソウケナガコナダニの被害が多く見られます。



次頁へ続く



**ネマモール粒剤30の上手な使い方**は以下の通りですが、耕種的防除法、物理的防除法と組み合わせてください。

- ・**ネコブセンチュウ/ネグサレセンチュウの防除(きゅうり、はくさい、セルリー、すいか、かんしょ、カーネーション):** 所定薬量(30kg/10a)を定植前(かんしょは植付前)に全面土壌混和します。処理法として植溝土壌混和/植穴土壌混和もあります。ガス抜きは不要です。薬剤処理後7~10日以上置いて定植(植付)してください。
- ・**モグラ・野ソの忌避:**モグラ・野ソのビニールハウスや畑地への侵入防止を目的に使用します。モグラ・野ソがビニールハウスや畑地に侵入した疑いのある場合には、逃げ道を確保した上で、物理的防除法など他の防除法を併用して使用します。ビニールハウスや畑地の外周に深さ10cm程度の溝を掘り、所定量(処理溝50g/m)を散布後覆土・鎮圧します。らっかせいの野積みの場合は、整地後野積み予定箇所およびその周囲約50cm幅の範囲に所量(30g/m<sup>2</sup>)を均一に散布し表土15cmと混和します。
- ・**ほうれんそうのコナダニ類防除:**所定薬量(30kg/10a)をは種前に全面土壌混和します。ほうれんそうはガス抜きをせずに当日、は種ができますが、ネーキッド種子、催芽処理した種子など薬剤感受性の高い種子の場合は薬剤処理後3日置いてから、は種してください。
- ・**きゅうりのコナダニ類防除:**育苗床の床下に入れたモミガラの上に所定量(30g/m<sup>2</sup>)を散布します。  
姉妹製品にネマモール乳剤があります。

注)薬剤によって適用病害、使用法が異なります。製品ラベルをご確認の上、適正にご使用ください。  
(鳥取)

[目次へ戻る](#)

今月のご相談から

## 野菜等を加害するオオタバコガの防除ポイントは？

**Q1.** [オオタバコガの被害や生態について教えてください。](#)

**A1.** オオタバコガは広食性で、野菜類ではトマト、なす、きゅうり、ピーマン、レタス、いちご、うり類など、花き類ではきく、ばら、カーネーション、トルコギキョウなどを加害します。ヨトウガは数百個の卵を塊で産み付けますが、オオタバコガは1卵ずつ、一晩に200~300卵も産み付けます。幼虫は植物体内に潜る性質があり、花蕾や果実内あるいは結球内部に食入し、中を空にすると次々と移動して加害します。従って、**幼虫の数が少なくても大きな被害を与える重要害虫**となっています。年間世代数は露地栽培では2~3世代、施設栽培では4~5世代と考えられています。一般的には8月以降に被害が目立つようになります。



オオタバコガ幼虫(トマト加害中)

**Q2.** [オオタバコガに有効な農薬にはどんな製品がありますか？](#)

**A2.** 弊社関連剤では以下のような農薬が、オオタバコガに対する効果が確認されています。こ

次頁へ続く

の害虫は多くの薬剤に対して抵抗性を有していることが報告されています。抵抗性の発達を防止するため、作用性(系統)の異なる薬剤とのローテーション散布を心がけて下さい。

**合成ピレスロイド系農薬** **チョウ目、アブラムシ類、アザミウマ目にも有効です。**

**アグロスリン乳剤**：食用ぎく

**ハクサップ水和剤**：キャベツ、はくさい、レタス、リーフレタス、なす

**微生物農薬** **有機JAS法に基づく有機農産物に使用出来ます。**

**エスマルク DF**：野菜類、きく

**ゼンターリ顆粒水和剤**：野菜類（はくさいを除く）、とうもろこし

**フローバック DF**：野菜類、きく

**スピノシン系農薬** **チョウ目をはじめ、アザミウマ目、ハエ目害虫にも有効です。**

**ディアナ SC**：キャベツ、レタス、非結球レタス（かきちしゃ、サラダ菜、立ちちしゃ、美味タス、リーフレタス）、トマト、ミニトマト、なす、花き類・観葉植物

**カーバメイト系農薬** **チョウ目をはじめ、アブラムシ類にも有効です。**

**ランネート 45DF**：レタス、サラダ菜

**その他の系統の農薬** **新しいタイプの殺虫剤でチョウ目、ハエ目に優れた効果があります。**

**プレオフロアブル**：キャベツ、はくさい、立ちちしゃ、レタス、リーフレタス、なす、トマト、ミニトマト、いちご、ばれいしょ、アスパラガス、食用ぎく、きく（葉）、花き類・観葉植物



**Q 3.** [効果的な散布タイミングはどう考えたら良いでしょうか？](#)

**A 3.** オオタバコガの幼虫は齢期が進むほど殺虫効果は低下しますので、「ふ化直後から中齢期まで」のうちに防除することが重要です。なお、中齢期以降の幼虫はレタスやキャベツの結球部に、トマト等の果菜類では果実に食入して防除が困難になるので、やはり**発生初期（若齢幼虫期）の散布がポイント**になります。なお、薬剤散布に当たっては、葉裏や株元にも良くかかるように丁寧に散布して下さい。また、施設栽培では成虫の侵入を防ぐ為、開口部に防虫ネットを設置することも重要です。

**Q 4.** [野菜類のオオタバコガに登録があれば「未成熟とうもろこし（スイートコーン）」に使用出来ますか？](#)

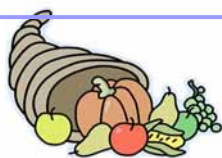
**A 4.** 未成熟とうもろこし（スイートコーン）は登録上は野菜類ではなく、「雑穀類」になります。従って、**野菜類に登録があっても「雑穀類」である未成熟とうもろこしには使えませんのでご注意ください。**

なお、ゼンターリ顆粒水和剤は「とうもろこし／オオタバコガ」に登録があります。「とうもろこし」は、「とうもろこし（子実）と未成熟とうもろこし」を含むので、ゼンターリ顆粒水和剤は、未成熟とうもろこし（スイートコーン）に使えることとなります。

(小川)



[目次へ戻る](#)



## お役立ちプチ情報

### シリーズ「どこが違う」(その6)

#### 同じ作物なのに別の農薬登録作物になる？

今回も前回と同じように、同じ作物であるのに品種、栽培方法、収穫時期等の違いにより、農薬登録作物名が違う作物を紹介します。

##### 大粒種ぶどうと小粒種ぶどう

農薬登録作物名が大粒種ぶどうと小粒種ぶどうに分けられている場合があります。

小粒種ぶどうは一つの果実の重さが1.5g程度あるいはそれ以下の品種をいいます。大粒種ぶどうはこれより大きい品種のぶどうで、巨峰系4倍体品種、2倍体米国系品種、2倍体欧州系品種、3倍体品種を含んでいます。「ぶどう」の登録は大粒種ぶどうと小粒種ぶどうの両方を含んでいますので、この登録を持つ農薬はすべてのぶどうに使用できます。しかし、薬剤によってはどちらか一方の登録しかないものがあります。

例えば、アディオン水和剤は「ぶどう」の登録を持っていますが、アディオンフロアブルは「大粒種ぶどう」のみの登録ですので、使用にあたっては注意が必要です。

**小粒種ぶどう：デラウェア、シラガブドウ、やまぶどう**

**大粒種ぶどう：巨峰系4倍体品種（巨峰、ピオーネ、安芸クイーン等）**

**2倍体米国系品種（マスカットベリーA、キャンベルアーリー等）**

**2倍体欧州系品種（マスカットオブアレキサンドリア、甲斐路等）**

**3倍体品種（キングデラ、安芸シードレス等）**

##### かんきつとみかん

「みかん」の登録があると、なつみかん、はっさく、ゆず等にも使用できると思われますが、使用できません。みかんは温州みかんのみを指しており、なつみかん、はっさく、ゆず等は温州みかんとは別の作物とされています。柑橘類全体としては温州みかんも含めて、「かんきつ」の登録があり、「かんきつ」に登録があれば下記の柑橘類に使用できます。例えば、スミチオン乳剤は平成22年には「かんきつ」の登録がありましたが、現在は「みかん」と「なつみかん」のみで、他の柑橘類では使用できませんので、ご注意ください。

##### 「かんきつ」に含まれる作物

天草、アンコール、伊予柑、大紅みかん、オレンジ、カーブチー、かぼす、カラ、河内晩柑、清見、きんかん、グレープフルーツ、サガマンダリン、サマーフレッシュ、シークワサー、じゃばら、不知火、すだち、せとか、セミノール、タロガヨ、たんかん、長門ユズキチ、なつみかん、ネーブル、はっさく、はるか、はるみ、はれひめ、日向夏、ぶんたん、平兵衛酢、ぼんかん、マーコット、みかん、ゆず、ライム、レモン

(山脇)

[目次へ戻る](#)

## 農薬登録情報

8月29日・9月12日の主な適用拡大の内容です



### 適用拡大

種類	薬剤名	変更点	作物	病害虫名	使用量ほか		
殺虫剤	イカズチWDG	作物追加	すもも	シンクイムシ類	1500 倍 200 ~ 700 /10a	収穫前日まで 2回以内 散布	
		害虫追加	もも	カメムシ類		収穫7日前まで 5回以内 散布	
殺菌剤	住化ゲッター 水和剤 臭の拡大 を含む	使用時期 変更  使用回数 変更	ぶどう	開花直前 ~ 落弁期まで 但し、収穫 60 日前まで 収穫 45 日前まで  「本剤の使用回数」 3 回以内 1 回  「チオファネートメチルを含む農薬の総使用回数」 6 回以内(塗布は 3 回以内、散布は 3 回以内) 5 回以内(塗布は 3 回以内、休眠期の散布は 1 回以内、生育期 の散布は 1 回以内)			
				希釈倍数 変更	かんきつ (みかんを除く)	灰色かび病	1000 ~ 2000 倍 1500 ~ 2000 倍 200 ~ 700 /10a
					そうか病	1000 ~ 1500 倍 1500 倍 200 ~ 700 /10a	収穫 21 日前まで 5 回以内 散布
	ベンレート 水和剤	作物追加		小麦	赤かび病	2000 ~ 3000 倍 60 ~ 150 /10a	収穫 7 日前まで 3 回以内 散布
					雪腐病		根雪前 1 回 散布
				えだまめ	菌核病 紫斑病	2000 倍 100 ~ 300 /10a	収穫 30 日前まで 3 回以内 散布
	豆類(未成熟、た だし、えだまめ、さ やいんげん、さや えんどうを除く)	菌核病	収穫開始 14 日前まで 3 回以内 散布				
	さやいんげん		収穫前日まで 3 回以内 散布				
			さやえんどう			収穫前日まで 3 回以内 散布	

種類	薬剤名	変更点	作物	病害虫名	使用量ほか	
殺菌剤	ベンレート水和剤	作物追加	非結球あぶらな科 葉菜類(みずな、 チンゲンサイを除く)	炭疽病	4000 倍 100 ~ 300 /10a	収穫 21 日前まで 1 回 散布
			みずな	炭疽病	4000 倍 100 ~ 300 /10a	収穫 14 日前まで 1 回 散布
			チンゲンサイ			収穫 7 日前まで 1 回 散布
			さといも(葉柄)	乾腐病	種いも重量の 0.5%	催芽前 1 回 種いも粉衣
			ゼラニウム	黒根病	2000 倍 セルトレイ(60× 30cm)1 冊当り 500m	育苗期 2 回以内 灌注
		作物名 変更	麦類 麦類(小麦を除く)	雪腐病	2000 ~ 3000 倍 60 ~ 150 /10a	根雪前 1 回 散布
			芝(ベントグラス) 西洋芝(ベント グラス)	葉腐病 (ブラウンパッチ)	2000 ~ 3000 倍 2 /m <sup>2</sup>	発病初期 6 回以内 散布
		希釈倍数 変更	いんげんまめ	菌核病	1000 ~ 1500 倍 <b>1000~2000 倍</b> 100 ~ 300 /10a	収穫 7 日前まで 4 回以内 散布
		病害追加	えんどうまめ	<b>菌核病</b>		
		病害追加 使用時期 変更	だいず	<b>菌核病</b>	1000 ~ 2000 倍 100 ~ 300 /10a	収穫前日まで 4 回以内 散布
				紫斑病		収穫 14 日前まで <b>収穫前日まで</b> 4 回以内 散布
		作物名 変更 希釈倍数 変更 使用時期 変更 使用回数 変更	べにばないんげん 豆類(種実、た だし、だいず、い んげんまめ、え んどうまめ、らっ かせいを除く)	菌核病	2000 倍 <b>1000~2000 倍</b> 100 ~ 300 /10a	収穫 60 日前まで <b>収穫 14 日前まで</b> 「本剤の使用回数」 2 回以内 <b>4 回以内</b> 「ベノミルを含む農薬 の総使用回数」 3 回以内(種子粉衣は 1 回以内、は種後は 2 回以内) <b>5 回以内(種子粉衣 は 1 回以内、は種後 は 4 回以内)</b> 散布

種類	薬剤名	変更点	作物	病害虫名	使用量ほか	
殺虫 殺菌 剤	スタウトダントツ ディアナ 箱粒剤	害虫追加	稲(箱育苗)	イネヒメハモグリバエ	育苗箱(30×60 ×3cm、使用土 壌約5 ) 1箱当り50g	移植3日前～ 移植当日  1回  育苗箱の上から均一 に散布する

(阿部)

[目次へ戻る](#)**病害虫発生情報**

9 / 4 ~ 1 3 (JPP 発表に基づく)

**鹿児島県**

★ 9月4日 注意報 **かんきつ、なし、かき / 果樹カメムシ類(チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシなど)**

登録薬剤:

**かんきつ**: アグロスリン水和剤、アグロスリン乳剤、アディオン乳剤、ダントツ水溶剤、ロディー乳剤他

**なし**: アグロスリン水和剤、アディオンフロアブル、アディオン乳剤、スミチオン水和剤40、

スミチオン乳剤、ダントツ水溶剤、パーマチオン水和剤、ロディー水和剤、ベストガード水溶剤

**かき**: アグロスリン水和剤、アディオン乳剤、サイアノックス水和剤、スミチオン水和剤40、

スミチオン乳剤、ダントツ水溶剤、パーマチオン水和剤、ロディー水和剤

詳細は: <http://www.jppn.ne.jp/kagoshima/>

☆適用内容を確認して、地域に適した薬剤をお使いください。

(小川)



チャバネアオカメムシ(なし)

[目次へ戻る](#)

# 最近の「お・・美味しい！」

## 料理はワンポイントが重要！

弊社相談室から佐伯がお送りします  
最近の「お・・美味しい！」  
女性の目・主婦の目・はたまた酒呑み??の目(笑)で、  
毎月「これぞ！」というものを紹介します。  
どうぞお楽しみに♪♪

嬉しいことに「手作りのお菓子」をいただくことがあります。それは会社の同僚の奥様からのおすそ分けだったり、友人の旦那さん(!)からのおすそ分けだったり、さまざまです。いただくものは「オレンジピールのチョコレートがけ」だったり、「チョコレートブラウニー」だったり、手の込んだ（そしてプロ級に美味しい）ものばかりです。「お菓子」と言えば、実は佐伯、随分昔に「お菓子作り」に凝った時期がありました（今はサッパリですが）。作るものと言えばこんな手の込んだものではなく、ごく普通のパウンドケーキとか、クッキー、変わりどころでは「どら焼」なんかを作ったこともありました。しかし、作れど作れど「ちゃんとしたもの」にならず、パウンドケーキは何となく膨らまない、クッキーはなぜか蕎麦ぼうろのような形（と口当たり）になる、どら焼も中途半端な焼き具合・・・。一体なぜなのか！？原因ははっきりしています。ちゃんと本に書いてあるレシピどおりに作らないからです。お菓子作りの命と言われる材料の計量から、手順から、「だいたい、こんな感じかな！？」と、適当に作ってしまうので、当然、本物のお菓子にならないのです。どうも、私は本を見ながらじっくりとレシピどおりに作るということが苦手なようです。それでも懲りずに何度も作っては中途半端なものを量産していたのが我ながら懐かしい思い出です（それでも味はまあまあなので、食べていましたが（笑））。

**お菓子作り比べて、料理は多少、適当・自己流でも、美味しいものが出来上がる**という点で、私のような性格の人には合っていると思います。それでも、基本のポイントを押さえていないと、いくら自由とはいえ美味しいものは出来上がりません。たとえば、こんにゃくは下茹でしてから使う、油揚げは油抜きしてから使う、ごぼうやれんこんは酢水にさらしてから使うなどです。まあ、これは基本なので、いくら面倒くさがり屋の私でも一応下ごしらえとしてやっています(本当)。後は自己流・・・のことが多いですが、たまに「レシピ本」などを立ち読みすると、作るメニューによって、「ここが料理のポイントだ！」みたいなものが見えてきて、勉強になっておもしろいです。

**「ポテトサラダは熱いうちに下味をつける」**これも、レシピ本で知った事実です。これは熱いうちに塩コショウ・酢を下味としてつけると味が馴染みやすいからです。ポテトサラダはどんな作り方をしても、正解だと思うのですが、このポイントだけは死守しないと、美味しいものが作れません。こういう「理由」と一緒にポイントだけ頭に入れてしまえば、他の料理でも応用が効きます（カボチャサラダやマカロニサラダ(写真)なども然り）。

**「何でも炒めてから煮れば良ってもんじゃない」**これも、先日レシピ本を見て知ったことです。「海老とトマトのカレー」なるレシピを本屋で立ち読みし、「ポイントはどこだ!？」と思って見ていたらありました！大事なポイントが！何も知らなければおそらく、先に海老や野菜を一緒に炒めてしまって、その後、香辛料でカレー味付けをして煮込んでしまうところでしょう。しかし、違っていました。大まかにいうと、まず野菜や香辛料でカレールーを作ってしまうから、酒・塩を馴染ませて下ごしらえしておいた海老を最後に投入する・・・要は既にできあがっているカレー汁で海老を仕上げで少し煮込む感じ。この方法は新鮮でした。実際、海老は最後に入れるので煮込みすぎず固くならないし、それでいて出汁はしっかりカレールーに溶け込んで、一つ上の上等な出来栄えとなりました。

**何もかも自己流じゃいけないけど、自己流が生きるのも料理の良いところ。**今後にも気軽に、でもポイントだけは外さず！のスタンスで料理を楽しみたいと思います。（佐伯）



[目次へ戻る](#)

## ～ 編集後記 ～



今回の農家さん訪問では岐阜県本巣市の農事法人を訪問しました。農家さん訪問記でも紹介しましたが、この地域は古来多くの人々が行き来し、領地拡大と天下の覇権を狙った男たちの汗と血が流された場所です。古くは壬申の乱の時、大海人皇子が吉野を発し、この地方の豪族尾張氏に身を寄せ、その勢力を背景に軍勢を調えたといわれています。古来、軍事力はその地域の農業生産力に支えられており、壬申の乱の勝利も織田信長の「天下布武」も濃尾平野の豊かな農業生産が実現させたと考えています。氾濫を繰り返しながらも、豊かな水を供給してきた木曾三川と付き合ってきた農家の力を今回の訪問で改めて感じています。農家さんから頂いた日本酒「織部乃里」を味わいました。一口含むと柔らかい味と香りがあり、飲み込むとスルリとのどを通りました。私は日本酒が大好きですが、実に飲みやすいお酒で思わず「こりゃ旨い」とつぶやきました。このお酒、原料となる稲の品種は酒米として有名な山田錦や五百万石ではなく、以前は最も普通に栽培されていた「日本晴」です。酒米でないといい酒はできないと思いついていましたが、「日本晴」でも素敵な日本酒ができることを知り、「いい水で栽培されたいい米で作るとお酒もいい酒になること」を改めて知りました。ところで岐阜県本巣市といえば、以前は美濃国真桑村であり、この地で盛んに栽培されていたのがマクワウリです。マクワウリは最近スーパーでも見かけるようになりました。ところが、農薬登録の面からみるとマクワウリに適用ある農薬は少なく、また、「うり類（漬物用）」のような間違いやすい作物名もあり、誤って使用される例もあります。そこで、次回の「お役立ちプチ情報：シリーズどこが違う（7）」でうり類やマクワウリに関わる解説をしますので、お楽しみに。

(山脇)

今回の農家さん取材では岐阜県本巣市を訪れました。実は私、今まで「岐阜県」にほとんど訪れたことがありませんでした（昨年、郡上八幡に行ったのが初めて。あとは新幹線で通過するのみ・・・）何しろ「暑い！」と聞いていたので覚悟して行ったのですが、たしかに暑かったもののその日はラッキーなことに湿度が少なくカラッとしていたので、木陰に入れば涼しく、何とか元気に取材を遂行することができました。

さて、初めての場所は何かと新鮮で、毎回その新鮮さを体験するのも旅(取材)の醍醐味といえます。今回初めて岐阜駅に降り立ちましたが、迎えてくれたのが金色に輝く「織田信長像」、そして、織田信長の猛々しいイラストが描かれたバスでした。遠くを見渡せば織田信長の岐阜城（金華山）が見えます。なるほどそうか、岐阜と言えば織田信長！昔、司馬遼太郎の小説を読んだなあ～なんてしみじみ思ったりしました。（金華山登りたかった・・・！）



昼食にはボリュームたっぷりの「中華」をいただきました。

取材に連れて行ってもらった営業マンの話によると岐阜では

「台湾ラーメン」という唐辛子の効いた醤油ラーメンが一般的だそうです。そして、ボリュームたっぷりのセットメニューがめちゃめちゃ安い！これもこのあたりの「特徴」なんだそうです。

（本当にすごい量でした。山脇さんよく食べたなあ・・・）。また、お隣、愛知県発祥のいわゆる喫茶店の「モーニングサービス」が岐阜県でも盛んで、営業マンも商談のために一日何回も喫茶店に行っておモーニングで商談するそうです（大変だ～）。

やっぱり実際に訪れて見て聞いて食べて・・・色々してみないと「実感」って湧かないものですね。日帰りで忙しい取材でしたが、それでも短時間で「岐阜」を堪能できた一日でした。



次月号の - 農力だよりは  
10月31日(水)の発行予定です。  
どうぞお楽しみに！！

(佐伯)

[目次へ戻る](#)